

# KCI

The  
Kyoto  
Costume  
Institute

## 2025年度 事業計画書

---

自 2025年 4月 1日  
至 2026年 3月 31日

公益財団法人 京都服飾文化研究財団  
The Kyoto Costume Institute

1. 2025年度 活動方針

2. 2025年度 事業計画

## 「KCIのミッション」

世界の衣服・装身具・下着等の収集・保存・公開を行うとともに、調査・研究・教育活動を通じて、我が国の服飾文化の醸成とファッション産業の発展に貢献する。

## ■ 運営の指針

- ① 公開・普及活動を推進し、国内外で「美術館における衣装展」の認知を広める
- ② 財団の認知度を高め、活動及び財政面における地域・国内外からのサポート体制を強化する
- ③ 環境の変化に応じて注力する事業活動を設定し、人的・財政的資源を傾注する

# 1. 2025年度 活動方針

---

## ■ 公開

- ① 国内美術館との合同企画による展覧会の開催
- ② デジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果のホームページ等での公開とその推進

## ■ 収集・保存

- ① 研究・公開活動に資する作品の収集
- ② 優先度の高い収蔵品に対する補修業務の強化
- ③ 作業・保存環境の安定的維持

## ■ 研究・育成

- ① 三菱一号館美術館との合同企画展開催に向けた調査・研究
- ② 次回特別展に向けた企画及び調査
- ③ 国内外の研究者・団体との連携
- ④ 中長期事業計画立案のための調査

### ■ 公開

#### 1. 共催展

##### ① 「LOVEファッション—私を着がえるとき」展

会場：東京オペラシティ アートギャラリー

会期：2025年4月16日（水）～6月22日（日）

主催：東京オペラシティ アートギャラリー、公益財団法人京都服飾文化研究財団

協賛：NTT都市開発リート投資法人

特別協力：株式会社ワコール

協力：株式会社七彩、株式会社ルシアン、ヤマト運輸株式会社、吉忠マネキン株式会社

助成：公益財団法人大林財団、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

後援：在日スイス大使館

#### 【概要】

服を着ることは人間の普遍的な営みのひとつです。そして装いには私たちの内なる欲望が潜み、憧れや熱狂、葛藤や矛盾を伴って表れることがあります。お気に入りの服を着たい、あの人のようになりたい、ありのままにいたい、我を忘れたい……。着る人のさまざまな情熱や願望=「LOVE」を受け止める存在としてのファッション。そこには万華鏡のようにカラフルな世界が広がっています。

本展では、京都服飾文化研究財団(KCI)が所蔵する18世紀から現代までの衣装コレクションを中心に、人間の根源的な欲望を照射するアート作品とともに、ファッションとの関わりにみられるさまざまな「LOVE」のかたちについて考えます。展覧会を通して、私たち人間が服を着ることの意味について再び考えるきっかけとなるでしょう。

### ■ 公開

#### 1. 共催展

#### ② 「アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団（KCI）コレクションを中心に」展

会場：三菱一号館美術館

会期：2025年10月11日（土）～2026年1月25日（日）

主催：三菱一号館美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団

#### 【概要】

1920年代に世界を席卷した装飾様式「アール・デコ」。生活デザイン全般におよんだその様式は、「モード」すなわち流行の服飾にも現れました。ポワレやシャネル、ランバンなどパリ屈指のメゾンが生み出すドレスには、アール・デコ特有の幾何学的で直線的なデザインや細やかな装飾が散りばめられています。それは古い慣習から解放され、活動的で自由な女性たちが好む新しく現代的なスタイルでした。

2025年は、パリで開催された装飾芸術の博覧会、通称「アール・デコ博」から100年目にあたります。この記念の年に、世界的な服飾コレクションを誇る京都服飾文化研究財団(KCI)が収集してきた選りすぐりの服飾作品約60点を展観します。また、国内外の美術館所蔵の絵画、版画、工芸品などを加え、現代にも影響を与え続ける100年前の「モード」を紐解きます。

## 2. 2025年度 事業計画

### ■ 公開

#### 2. 出展協力

- ① 「拡大するシュルレアリスム 視覚芸術から広告、ファッション、インテリアへ」展  
会場：大阪中之島美術館  
会期：2025年12月13日（土）～2026年3月8日（日）  
主催：大阪中之島美術館  
貸出：1930年代のドレス 計2点

#### 3. KCIギャラリー

- ① 「アクティブな女性たち：1920年代のよそおい」  
会期：2025年1月27日（月）～4月25日（金）  
展示：フランス、アメリカの1920年代を中心とした服飾品類、版画類、約25点
- ② タイトル未定  
会期：2025年11月～2026年4月

## 2. 2025年度 事業計画

---

### ■ 公開

#### 4. デジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果の更新および増補

- ① KCIホームページでの公開情報の更新および増補
- ② 収蔵品データベースにおける収蔵品情報の整備（資料のデジタルアーカイブ化の推進）
- ③ インスタグラム等、SNSを用いた活動や収蔵品に関する情報発信
- ④ KCIスタディ・ルームでの衣装収蔵品データベースの公開
- ⑤ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」の公開及び収録作品の増補
- ⑥ 「Google Arts & Culture」への収蔵品情報提供及びWEB上で公開

### ■ 収集・保存

#### 1. 収集

- ① 次回特別展を含む、今後の研究・公開活動に資する衣服・装飾品及び関連資料の収集
- ② 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

## 2. 2025年度 事業計画

### ■ 収集・保存

#### 2. 保存・補修

- ① 定期的な収蔵品のコンディション記録と補修計画の策定
- ② 素材や形状等、収蔵品の特性に最適化した補修及び保存方法の検討と実践
- ③ 収蔵庫等、作業・保存環境の安定化とその維持・管理、防虫・防黴対策

### ■ 研究・育成

#### 1. 研究

##### ① 科研費（日本学術振興会科学研究費助成事業）

「ミュージアムにおけるファッション展の日本的展開に関する総合研究」

五十棲亘（共同研究）

「ファッションスタディーズの樹立に向けた日本的課題解決のための挑戦的研究」

五十棲亘（共同研究）

##### ② 2025年度共催展の出展候補品に関する調査・研究

##### ③ 国内美術館との共同研究調査

##### ④ 学術研究誌への研究論考の投稿など

## 2. 2025年度 事業計画

### ■ 研究・育成

#### 2. 教育・育成

##### ① 大学等における講義

- ・ 京都芸術大学 「空間演出デザイン概論II」
- ・ 同志社女子大学 「よそおいの文化論」
- ・ 京都精華大学 「ファッション史」

##### ② シンポジウム・講演・研究会への参加

##### ③ 学芸員資格取得博物館実習（8月18日～22日の5日間）

公募審査による8名程度を予定

##### ④ キュレーター及びレストアラー（修復技術者）の育成

#### 3. 研究誌・広報誌発行

① 研究誌 『Fashion Talks...』 1回発刊

② 広報誌 『服をめぐる』 2回発行

③ 他学術研究誌、一般服飾関連誌への寄稿